

公益財団法人ソニー音楽財団

平成 25 年度 事業報告書

(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

I. 方針

当財団の平成 25 年度事業は、過去 28 年間の実績を基に、より積極的な活動を多角的に展開することによって一層、社会的評価を高めるべく努力しました。

II. 事業

公益目的事業1. 音楽、オペラ、舞踊等の普及向上事業

(1) 「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」 「Concert for KIDS～3才からのクラシック®～」の開催

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から1999年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。

出演者はピアノ、ヴァイオリン、フルート、トランペット、トロンボーン、マリリンバ、ハープ、サクソ、オーボエ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容構成で開催しました。

【日程及び会場】2013年～2014年

4月29日(月・祝)	[東京都]	ホテルニューオータニ
5月18日(土)	[東京都]	なかのZERO 大ホール
5月25日(土)	[神奈川県]	青葉台区民文化センター フィリアホール
6月22日(土)	[東京都]	サントリーホール ブルーローズ(2回公演)
7月10日(水)	[東京都]	ミレニアムホール
8月24日(土)	[長崎県]	アルカス SASEBO(初)
8月25日(日)	[福岡県]	響ホール(2回公演)
9月16日(月・祝)	[北海道]	北見芸術文化ホール
9月21日(土)	[東京都]	保谷こもればいホール
10月14日(月・祝)	[東京都]	HAKUJU HALL
12月14日(土)	[千葉県]	印西市文化ホール
3月9日(日)	[東京都]	HAKUJU HALL
3月29日(土)	[東京都]	西新井文化ホール(初)

(以上、全15公演)

(2) 「0才まえのコンサート®—ママのおなかは特等席—」の開催

妊娠している母親が、コンサートにより得られる感動や喜びは、お腹の赤ちゃんにもよい影響を与え得る、という発想から企画されたユニークなコンサートです。1985年にスタート、現在までに160回以上、全国30カ所以上で開催しています。

妊娠をきっかけにクラシック音楽に触れてみようというクラシック初心者の方々

もリラックスしてコンサートを楽しめるよう、曲は耳馴染みのある優しい小品を中心に構成され、出演者による出産・子育て経験談や作曲家にまつわるエピソードなど、トークも交えながら進行します。カップルや家族で外出しやすい土・日の午後で開催しており、来場者の多くがお腹の中の赤ちゃんとパパとママなのも大きな特徴です。

【日程及び会場】2013年～2014年

5月25日(土)	[神奈川県]	青葉台区民文化センター フィリアホール
10月14日(月・祝)	[東京都]	HAKUJU HALL
3月9日(日)	[東京都]	HAKUJU HALL
3月23日(日)	[東京都]	秋川キララホール

(以上、全4公演)

(3) 子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ

Sony Music Foundation スペシャル・コンサート・シリーズは、2004年より始まりました。これまでにニューヨーク・フィル、ベルギー王立歌劇場(モネ劇場)、パリ・シヤトレ座、イ・ムジチ合奏団、ウィーン・トーンクンストラ管弦楽団、ファジル・サイ、フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団、ニコラウス・アーノンクール&ウィーン・コンツェントゥス・ムジクス、シモン・ボリバル・ブラス・クインテット、鼓童、ロンドン交響楽団など世界に名だたる演奏団体・演奏家たちによる公演を開催してきました。

今年度は30周年記念事業との兼ね合いで実施しませんでした。

(4) 「MIKIMOTO 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート」の開催

毎年2回開催している本コンサート・シリーズは、1990年よりスタートし、20年を超えて継続開催しています。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血のための血液を運搬する血液運搬車の購入・整備資金へと充てられます。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では十分な数の運搬車が確保出来ていない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、一般の方が、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担っているものです。今年度は名古屋と東京にて開催しました。

【第48回】名古屋公演

2013年11月23日(土・祝)

会場：[愛知県] 名古屋 三井住友海上しらかわホール

出演：パーヴォ・ヤルヴィ(指揮) ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

主催：Sony Music Foundation/三井住友海上しらかわホール

協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/
御木本製薬株式会社】

後援：日本赤十字社

【第49回】東京公演

ニューイヤール・コンサート

2014年1月19日(日)

会場：[東京都] サントリーホール 大ホール

出演：宮田 大(チェロ) 小山実稚恵(ピアノ) 垣内悠希(指揮) 東京都交響楽団

主催：Sony Music Foundation

共催：東京都交響楽団

協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/
御木本製薬株式会社】

後援：日本赤十字社

(5) “Great Artist Series” の開催

当シリーズは世界的に実力第一級のアーティストによる、商業ベースに左右されることのない、貴重な公演を提供しようとするシリーズです。今年度は「国際オーボエコンクール」の第1回目から審査委員をつとめ、第4回から審査委員長を務めている元ベルリン・フィル首席オーボエ奏者・指揮者のハンスイェルク・シェレンベルガーが創立メンバーである木管五重奏団の世界のトップ、アンサンブル・ウィーン＝ベルリンの結成30周年記念ツアーの東京公演を開催しました。30周年記念委嘱作品の作曲家、細川俊夫のプレトークとその日本初演を含むスペシャルな内容でお届けしました。

【日程及び会場】

2013年10月4日(金) [東京都] 紀尾井ホール

(6) 東日本大震災復興支援チャリティ・コンサート

2011年度から東日本大震災復興支援プロジェクトの柱として開始した「小・中・高校生のための『第九』チャリティ・コンサート」は、チケットを購入することによって子どもたちもチャリティに参加できるコンサートで、チケット収入の一部と公演当日の募金を被災した子どもたちの支援に役立てることを目的とし、中期的に継続しています。3年目の今年度は2012年にリニューアル・オープンした東京芸術劇場コンサートホールを会場とし、第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞の受賞者である大友直人（指揮とお話）と東京交響楽団等で開催しました。

【日程及び会場】

2013年12月22日（日） [東京都] 東京芸術劇場 コンサートホール

（7）Dream Seats

Dream Seats は、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等の定期公演や名曲コンサート、オペラ公演などを、小学生から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売しています。子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の演奏会を楽しんでもらうために提供している企画です。オーケストラ公演に加えて、室内楽やオペラ公演などもその都度、条件に合った公演を案内しています。また、東京・春・音楽祭実行委員会に協力する形で子どものための公開リハーサルも2回実施しました。

「子ども音楽新聞」は今年度は発行せず、来年度に「コンサート・ホール」を特集し2号発行する予定です。

（8）セミナーの開催

世界的にも著名な音楽家・教育者を招いて、セミナーを開催するものです。若手育成のための音楽教育プログラムであるとともに、日本の教育者たちにも学べる機会を与えることを目的とします。今年度は開催しませんでした。

（9）30周年記念事業の開催

ソニー音楽財団（当時・ソニー音楽芸術振興会）が活動を開始して30年を迎えるのを記念し、2014年2月から2015年3月までの約1年間にわたり、様々な30周年

記念事業を計画しています。2月にはその端緒として、ジャズ・ピアニストの小曾根真をソリストと司会に迎え、第4回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞したアラン・ギルバート指揮ニューヨーク・フィルハーモニックの演奏で、小学生から19才までを対象にした「10代のためのプレミアム・コンサート」の第1弾の公演を開催しました。前半の最後にはニューヨーク・フィルの教育プログラムの一つである「ベリー・ヤング・コンポーザーズ」プログラムで、福島の子どもたちが作曲した作品にニューヨークの子どもたちが応える形で作曲された6作品が日本で初披露され、音楽的な交流が実現しました。当日福島の子どもたちと、東京都に避難している被災地の子どもとご家族も招待しました。

【日程及び会場】

2014年2月11日（火・祝） [東京都] サントリーホール 大ホール

公益目的事業2. 国際的コンクール等の開催事業、芸術家の顕彰事業及び芸術家の研鑽に対する助成事業

(1) 「第11回 国際オーボエコンクール・軽井沢」の開催

1985年から3年毎に開催してきた「国際オーボエコンクール」は、次回第11回を2015年に30周年記念という大きな節目となる大会として開催する予定です（平成27年度事業）。

(2) 第12回 齋藤秀雄メモリアル基金賞

2002年度（平成14年度）に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（1902-1974）氏に因むものです。

2000年3月17日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が90歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会（現・ソニー音楽財団）は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。

これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団前理事長・故大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われれます。齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968円の遺贈金が寄せられました。

当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、故大賀前理事長が小澤征爾氏（指揮者）、堤剛氏（チェリスト）とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用することになりました。この基金の利息収入により 2002 年度（平成 14 年度）から毎年度「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。2011 年度に一部規則改定し、広く業界から候補者に関するご意見を伺い、新たに任期制選考委員 3 名に加わっていただき、選考を行っています。

【今年度の受賞者】

指揮部門：三ツ橋 敬子 氏

チェロ部門：辻本 玲 氏

当賞の内容は以下の通りです。

1. 名称

「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

2. 選考対象

- ・ 音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。
- ・ チェリストと指揮者を各々1年に1人顕彰することを原則とする。但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

3. 選考方法

音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、受賞者を選定し、理事会において決定する。

選考委員会は、顕彰年の上半期に開催することを原則とする。

4. 選考委員の選定

（永久選考委員）

永久選考委員は以下の通りとする。

永久選考委員：小澤 征爾 氏（指揮者）

堤 剛 氏（チェリスト）

（任期制選考委員）

上記永久選考委員以外に任期制の選考委員を 3 名置く。任期制選考委員は理事会

に於いて選任し、任期は3年とする。任期制選考委員に欠員が生じた場合には、理事会に於いて後任を定める。

5. 賞

- ・ 楯
- ・ 賞金 当該年毎に1人500万円（総額1,000万円）

6. 受賞者発表時期、方法

顕彰時期を考慮して、当該年毎に適切な発表時期を定める。受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

7. 顕彰時期

当該年毎に適切な時期を定める。

8. 主 催：公益財団法人ソニー音楽財団（Sony Music Foundation）

特別協力：公益財団法人サイトウ・キネン財団

サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会

（3）「齋藤秀雄メモリアル基金賞」受賞者に対する支援

2002年より創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」では毎年、1名ずつの若手チェリストと指揮者を顕彰しています。この賞の更なる意義を深めるために、この賞を受賞された演奏家達に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。今年度は開催しませんでした。

（4）「国際オーボエコンクール」奨励賞受賞者及び入賞者に対する支援

1985年より3年毎に開催される「国際オーボエコンクール」はこれまで国内外の多くの若手オーボエ奏者にコンクールという形で場を提供してきました。日本人最高位に贈られる「奨励賞」受賞者や本選出場を果たした演奏家に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

今年度は、第10回にて第2位、奨励賞、そして新設された軽井沢町長賞（聴衆賞）を受賞した金子亜未のリサイタルを東京・春・音楽祭2013のプログラムの一環で行いました。

東京・春・音楽祭—東京のオペラの森 2013—《午前11時》の音楽会 vol.3
金子亜未 オーボエ・リサイタル
～第10回 国際オーボエコンクール・軽井沢 奨励賞受賞記念
主催：Sony Music Foundation／東京・春・音楽祭実行委員会

【日程及び会場】

2013年4月13日（土） [東京都] 東京文化会館 小ホール

(以上)